

ソクシンラン		<i>Aletris spicata</i> (Thunb.) Franch.	絶滅危惧Ⅱ類
			ユリ科
選定理由	岐阜県では比較的希であることに加えて、個体数が減少してきている。		<p>写真(高橋弘)</p> 
形態の特徴	根出葉は線形、長さ10-30cm、幅0.2-0.5cm。花茎は高さ20-40cm、穂状花序をつくる。花被片は長さ6-8mm、下部1/2が合着し、外面に花序軸とともに白毛が密生する。花被裂片は上方に伸びて、先端部が少し外側へ開く。		
生態的特徴	暖温帯の林縁や草地に生育する。花期は4-6月。		
分布状況	国外では朝鮮南部と中国、日本では本州の関東以西から沖縄に分布する。岐阜県では東濃南端の標高500m以下に見られる。		
減少要因	生育地の開発。		
保全対策	生育地の保全。		
特記事項			
参考文献			

文責: 高橋弘